



日本国内専用  
Use only in Japan

本製品は日本国内専用となります。  
海外でのご使用はおやめください。  
保証いたしかねます。

**HYPERRIVE  
DESIGN**

**TIERRA IC**

300-C/300L-C/300H-C/300HL-C

### ICカウンター取扱説明書 ①

#### 詳細な取扱説明書について

環境問題への取り組みの一環として、取扱説明書は一部WEB化させていただきました。製品の取扱い、およびメンテナンス、DAIWAアプリの使用方法等の詳細については、製品ページ内の取扱説明書をご覧ください。

DAIWA ホームページ  
<https://www.daiwa.com/jp/>

#### ●電池取扱い上の注意

- ①電池は乳幼児の手の届かないところに置き、万一電池を飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合には死に至ることがあります。
- ②電池の液が目に入ったときは、目に障害を与えるおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分洗った後、医師の治療を受けてください。
- ③電池を火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。絶縁物などを損傷させ、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- ④電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を引き起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- ⑤電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ⑥電池はセロハンテープなどで皮膚に固定しないでください。皮膚に障害を起こすおそれがあります。
- ⑦電池に漏液や異臭があるときには、漏れた液体に引火するおそれがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。
- ⑧電池が漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがありますので、下記のことは行わないでください。
  - ・電池の(+)と(-)を針金などで接続したり、また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れたりするおそれがあります。
  - ・電池は充電しないでください。充電すると電池内の電解液が加熱され、ガスの発生で内部圧力が上昇するおそれがあります。
  - ・電池を直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物などを損傷させるおそれがあります。
  - ・電池を保管する場合および破棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。電池を他の電池や金属製のものと混ぜたりすると、電池がショートするおそれがあります。

警  
告

#### ●各部の名称

この度は、TIERRA IC 300-C シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。このリールを正しくご使用いただくために、使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様この取扱説明書も大切に保管していただきますようお願い申しあげます。



- ①電源はOFFにしてから電池交換してください。
- ②電池交換は屋内の湿度の低いところで行い、バッテリーケース内に水滴等が入らないように注意してください。
- ③バッテリーケースを開けたまま、長時間放置しないでください。(電池交換作業は5分以内に終了してください)
- ④電池を取り外した時に現れる金属部分は手や金属で触らないでください。
- ⑤長時間ご使用にならないときは本体から電池を抜いてください。
- ⑥使用済の電池は、各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。
- ⑦電池交換時、バッテリーキャップやパッキン等の部品に傷がついたり、異物が入り込むと防水性能や機能に不具合が生じる可能性がありますのでご注意ください。
- ⑧電池が漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがありますので、下記のことは行わないでください。
  - ・電池を落とせたり、強い衝撃を与えた後、変形せたりしないでください。
  - ・電池は長時間直射日光や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
  - ・電池を水で濡らさないでください。
  - ・電池は直射日光、高温、高湿の場所を避けて使用、保管してください。電池の寿命を下げることもあります。
  - ・電池の使用、保管時に発熱、変形など今までと異なることに気づいたときは、使用しないでください。

#### ●IC カウンターご使用上の注意

- ①水中に浸すなど無理なご使用はおやめください。
- ②防水性を考え、バッテリーキャップは出荷時にしっかりと閉めてあります。電池交換以外でのバッテリーキャップ開閉はおやめください。
- ※カウンター電源のON・OFFはリセットスイッチの操作で行ってください。
- ③性能上、真冬(カウンター表面温度-10°C以下)および真夏(カウンター表面温度60°C以上)の際には液晶表示が見えにくくなることがあります。
- ④偏光グラス使用時、性能上、液晶表示が見えにくくなることがあります。
- ⑤電源ONの時、静電気などの影響により、一瞬液晶表示の一部が点灯することがありますが、故障ではありません。安心してお使いください。

**注意** IC カウンターが正常な場合でも、使い込んでいくうちにカウンター誤差が生じたときには、道糸が伸びていることが考えられます。その際にはお手数ですが再び道糸入力をやりなおしてください。

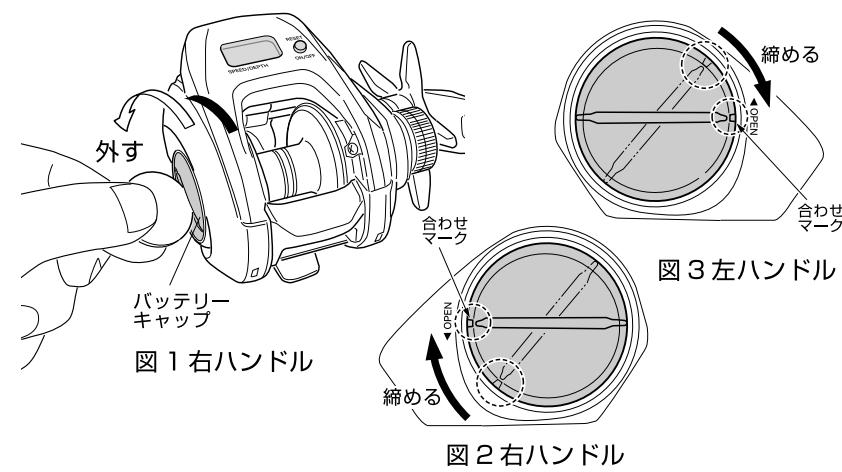
#### ●カウンター電源について

- 電池寿命が近づいてくると、カウンターに[E]が点滅します。
- ※電池寿命は無線通信「ON」の状態で、バックライトの設定が「常時点灯(on2)」、リール本体からのアラーム「ON」に設定すると7釣行(1釣行約8時間)程度です。

- ※電池寿命は無線通信「ON」の状態で、バックライトの設定が「OFF」、リール本体からのアラーム「OFF」に設定すると27釣行(1釣行約8時間)程度です。
- ※付属の電池はテスト用です。作動期間を保障するものではありませんので、お早めに新しい電池と交換してください。

#### ●電池交換方法

- ①コインなどを使ってサイドプレートのバッテリーキャップを[OPEN]の矢印方向に回し外します。(図1)(電池が落下しないようご注意ください。)
- ②古い電池を取り外します。
- ③新しい電池を入れます。(手前が+になるようにしてください。)
- ④バッテリーキャップを付けて、閉めてください。
- ※バッテリーキャップを取り付ける際は図2のように目印をケース側のOPENの位置とあわせてください。(左ハンドルは図3を参考にしてください。)
- ※バッテリーキャップの合わせマークが目印の位置になるまでしっかり閉めてください。
- ⑤電池交換後、カウントダウン表示の後、[0.0]の表示になれば正常です。
- ※電池はCR2032です。
- ※電池交換後も各種設定データ(道糸データ、アラーム設定、LED設定)は消えません。



#### ●故障かなと・・・考える前に

症 状	処 置	備 考
カウンター表示がつかない。	①リセットスイッチ(電源ON・OFF)を押してください。 ②室温にてもう一度たしかめてください。 ③電池切れ、+・-逆入れなどについて確かめてください。	-10°C以下、60°C以上の場合、液晶表示が見えにくくなることがあります。
カウンター表示が消えない。	リセットスイッチ(電源ON・OFF)を5秒以上表示が消えるまで押してください。	電池については本マニュアル中の該当する欄をご覧ください。
カウンター表示が勝手に消えた。	リセットスイッチを押してください。但し、初期状態になります。押しても表示しない場合は、電池を交換してください。	このリールには自動節電機能がついております。(約60分)
カウンター表示がうすくなった。	電池寿命が近づいています。新しい電池と交換してください。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
アラームが鳴らない。音が小さい。LEDが点灯しない、暗い。	電池寿命が近づいています。又は設定がOFFになっているので設定をONにしてください。	設定方法については本マニュアル中の該当する欄をご覧ください。
電源ON時英数字が数秒表示される。	当社で使用する識別表示のため、故障ではありません。	
各設定モードへの移行時[Err]が表示される。	電池寿命が近づいています。設定を変更できません。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
カウンターに[E]が点滅する。	電池寿命が近づいています。新しい電池と交換してください。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
誤差が大きい。	お手数ですが再び入力をやり直してください。 糸の種類によって、糸ののび・ちぢみが多かったり、色分けにズレがある場合もあります。そのため、カウンター表示とのズレが出る場合があります。	下巻きをして道糸を入力する場合、下巻き入力をやってください。
各種設定が変わってしまった。	お手数ですが、設定を確認後、再び設定をやり直してください。	設定方法については本マニュアル中の該当する欄をご覧ください。
タックルボックスに入れての移動や船べりロッドホルダーへの竿の立て方によっては、ボタンが長押し状態になり設定が変わってしまう場合があります。		
スマートフォンとの無線通信がされていません。再度ペアリングを行っていただくか、スマートフォンを通信可能な距離に近づけてください。	スマートフォンが無い状況での通信可能距離は約8mです。使用環境により通信可能距離が短くなる可能性があります。	
リール本体のアラーム音やICカウンターのLEDバックライトをOFFにしてください。	DAIWAアプリと接続することで、アラーム音をスマートフォン等から聞くことができます。	

※ DAIWA アプリについては、製品ページをご確認ください。

※上記の点検が行われても、正常にならなかったり、おかしいと思われたときには、お買い求めの販売店、またはお客様センターにおたずねください。他の故障が生じた場合や部品ご注文の際にも同様にお願いいたします。

